



いちのみや大学第 88 回講座

～ 登録有形文化財 湊屋で体験 ～ 昔の灯りで晩ごはん

日時：11月21日(土)午後4時 30 分～
(受付は午後 4 時から～)

場所：旧湊屋文右衛門邸
(一宮市起字堤町 33-1)

会費：2,000 円(軽い食事付き ろうそく代等を含む)

定員：20 名(要予約)



◆お問合せ・お申込み：

いちのみや大学事務局(有限会社人の森 内)

メール info@ichinomiya-daigaku.com

電話 080-4227-8641(平日 10:00～17:00) FAX 0586-72-5445

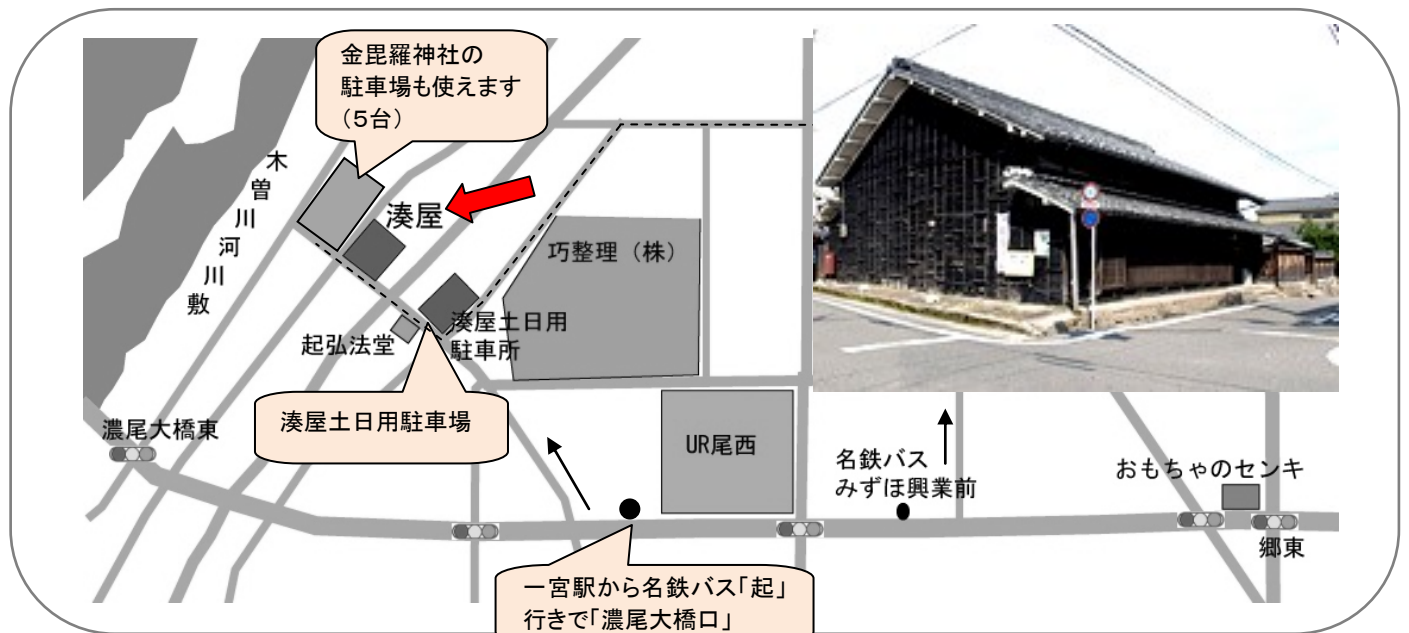
現代の私たちは、夜でも明るい電気を使った照明の中で暮らしています。しかし江戸時代や明治の頃は、家の灯りは陶製の皿に油を入れ、木綿などの灯心に点火して使用する灯明(とうみょう)やろうそく、行燈(あんどん)、やがて灯油によるランプを主に使っていました。

灯明の明るさは60ワット電球の約50分の1程度だとか。行燈はその灯明を紙で囲った中に入れたものですから、今の照明と比べたらどんなに暗かったでしょう。

この講座では、ろうそくや行燈の僅かな明かりの中で、昔の庶民の一般的なご飯をいただきながら、古民家での美しい闇や陰影を体験したいと思っています。

また、一宮の真清田神社の東で、今でも和ろうそくを作っている武田商店のろうそくを用意し、作り方や西洋ろうそくとの違いについても学びます。

旧湊屋文右衛門邸は、美濃路の宿場町であった起宿の街道沿いに位置し、濃尾地震(明治24(1891))にも耐えた数少ない建物で、江戸時代末期の屋敷構成をよく残しています。現在は「茶店湊屋」として、水、土、日曜日の午前10時～午後5時(L.O.16:30)に営業しています。



◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、一宮周辺で様々な分野の知識を持つ人に講師をお願いし、一宮の地域資源を生かし、一宮の街の様々な場所を教室に、ともに豊かに学んでいこうという生涯学習の市民活動です。

◆これからの講座の予定は？

日時	曜日	場所	講師	内容
12月20日 14:00～	日	i-ビル3階 市民活動支援セン ター会議室	二科会評議員 掘尾 一郎先生	スペイン紀行 サンティアゴ・デ・ コンポステーラ巡礼路 受講料 500円
1月9日 14:00～	土	i-ビル3階 市民活動支援セン ター会議室	元一宮市立北方中学校校長 田中 豊先生	古文書に見る 実録忠臣蔵浅野 内匠頭家臣 大石内蔵助敵打 受講料 500円

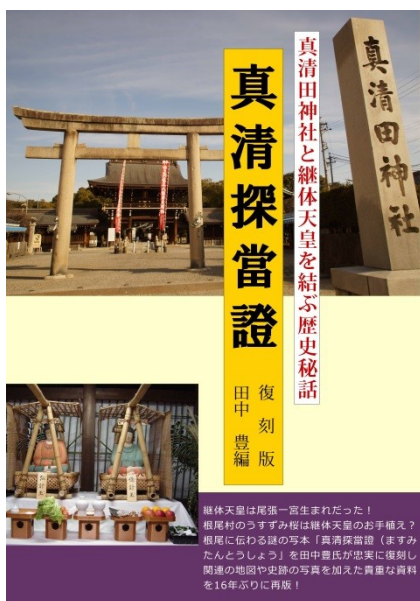
これまでに開催した講座： デジカメ講座、シャンソン、アフリカの音楽、ジャズピアノ、ヴァイオリンについて、古典落語、アートについて、紙のデザイン、洞窟探検の魅力、ネパール料理、韓国料理、日本茶、おから味噌、うすずみ桜と真清田神社のなぞ、織田信長のこと、美濃路・起宿について、船橋楽器資料館、一宮のプラネタリウム、葛利毛織、妙興寺、尾西繊維協会ビル等の見学など

人の森の本

人の森出版事業部が、歴史講座の名物講師
田中豊先生の著作で長らく絶版となっていた歴史秘史
「真清田探当証」復刻版を再版しました！

昭和の初めに一宮の土川と名乗る老紳士が根尾村
に持ち込んだ「真清田探当証」という文書には、継体天
皇をめぐる驚くべき内容が記されていました。履中天
皇の孫億計王、弘計王がたどったゆかりの史跡や地名が
数多く出ており、記紀とは異なる、継体天皇と真清田神
社や根尾のうすずみ桜との関係が記述されています。

田中豊先生は、根尾村文化財保護審議会の格別の
許可を得てこの貴重な文化財全編を復刻されました。



全 456 頁 定価 3,500 円税

巻末には一宮の古地図や参考資料なども収められており、古代史ファンならぜひ手に入れてじっくり全文を読んでみたくなる1冊です。

お問い合わせ・購入希望は下記へ

有限会社人の森 〒491-0854 一宮市北園通5丁目4-1

tel&fax: 0586-72-5445 (受付時間 電話は平日 10:00～17:00) mail: info@hitonomori.com

人の森 WEB ショップ <http://shop.hitonomori.com/>

一宮市の本屋 文正堂(真清田神社南西) 文泉堂(テンサンビル1階)

いちのみや大学事務局

〒491-0854 一宮市北園通5丁目4-1

tel: 080-4227-8641 / fax: 0586-72-5445 mail: info@ichinomiyadaigaku.com